



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月5日

上場取引所 東 大

上場会社名 株式会社アシックス

コード番号 7936 URL <http://www.asics.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO

(氏名) 尾山 基

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員

(氏名) 佐野 俊之

TEL 078-303-2213

四半期報告書提出予定日 平成25年2月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	190,499	2.3	16,397	△2.6	16,944	10.3	12,519	42.9
24年3月期第3四半期	186,298	5.9	16,826	△10.8	15,366	△5.9	8,761	△2.3

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 14,024百万円 (201.7%) 24年3月期第3四半期 4,648百万円 (28.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	66.03	—
24年3月期第3四半期	46.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	219,861	127,012	54.1
24年3月期	212,343	115,315	50.8

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 119,009百万円 24年3月期 107,951百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	12.00	12.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	262,500	5.9	20,000	1.9	21,000	6.6	14,000	11.0	73.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有
（注）詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報（注記事項）」に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 有
④ 修正再表示 ： 無
（注）詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報（注記事項）」に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）				
① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	199,962,991 株	24年3月期	199,962,991 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	10,372,562 株	24年3月期	10,371,575 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	189,591,023 株	24年3月期3Q	189,595,414 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示
この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
（将来に関する記述等についてのご注意）
本資料に記載されている業績見通し等の将来に対する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる過程および業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）
四半期決算補足説明資料は平成25年2月5日（火）に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 追加情報	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	11
(1) 連結分類別売上高明細表	11
(2) 地域別売上高	11
(3) 在外子会社為替換算レート	12
(4) 報告セグメント別売上高増減比、セグメント利益増減比およびセグメント利益率	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、欧州の政府債務危機の長期化による景気低迷、米国の財政問題や新興国の経済減速懸念など、先行き不透明な状況が続きました。日本経済は、復興需要による景気の下支えはあるものの、輸出の減少やデフレの影響などにより、依然として厳しい状況で推移いたしました。

スポーツ用品業界は、ランニングブームなどを背景に、健康志向によるスポーツへの関心が高まっているものの、厳しい経営環境が続きました。

このような情勢のもと、当社グループは、中期経営計画「アシックス・グロース・プラン(AGP)2015」に基づき、引き続きグローバルレベルでの事業の強化・拡大を図りました。高機能ランニングシューズのグローバルモデル「GEL-NIMBUS 14」、「GT-2000」の市場投入やランニングウェアの拡充など、製品力の強化に努めるとともに、パリ、ゴールドコースト、シンガポール、神戸などの世界各地のマラソン大会への協賛や、ロンドンで開催された第30回オリンピック競技大会において各種競技の各国代表選手への当社製品の提供など、ブランド価値および企業イメージの向上に努めました。

ベースボール事業におきましては、製品をすべてアシックスブランドに統一し、高機能製品を中心に販売を開始しました。

販売面におきましては、ロンドン、バルセロナ、神戸にアシックスブランドの旗艦店、東京にホグロフスブランドの直営店をそれぞれオープンしたほか、ブラジル、アメリカ、オーストラリアなどに自主管理売場をオープンするなど、売上拡大に努めました。

また、世界本社機能と日本事業の分離および国内販売子会社の整理統合を進めました。これにより、当社は世界本社として、グローバル市場の動向を見据えた経営管理と競争力の源泉である商品開発力の強化を、日本事業はマーケティング・販売機能の強化・拡大を図ります。

当第3四半期連結累計期間における売上高は190,499百万円と前年同期間比2.3%の増収でした。このうち国内売上高は、主にランニングシューズが好調であったものの、アシックスブランドへの統一の影響によるベースボールウェア・用具類の低調などにより63,546百万円と前年同期間比1.0%の増収でした。海外売上高は、米州および欧州などでランニングシューズが好調に推移したものの、為替換算レートの影響により126,952百万円と前年同期間比2.9%の増収にとどまりました。

売上総利益は、売上高が増加した一方で、仕入コストが上昇したことなどにより81,670百万円と前年同期間比0.3%の減益でした。販売費及び一般管理費は、主に広告宣伝費が減少したものの、自主管理売場の増加による人件費などの増加により65,273百万円と前年同期間比0.2%の増加となり、営業利益は16,397百万円と前年同期間比2.6%の減益となりました。経常利益は、前年同期間は為替差損を計上しましたが、当第3四半期連結累計期間は為替差益を計上したことなどにより16,944百万円と前年同期間比10.3%の増益、四半期純利益は移転価格税制に基づく法人税等追徴税の還付金および還付加算金の計上により12,519百万円と前年同期間比42.9%の増益となりました。

報告セグメント別の業績は、次のとおりであります。

①日本地域

日本におきましては、ランニングシューズが好調であったことに加え、在外子会社への売上高が増加したことにより、売上高は80,090百万円（前年同期間比6.1%増）となりましたが、セグメント利益につきましては広告宣伝費および人件費の増加などにより2,868百万円と前年同期間比で微減でした。

②米州地域

米州におきましては、ランニングシューズが好調であったため、売上高は51,269百万円（前年同期間比9.5%増）となり、セグメント利益につきましては主として売上高の増加により4,628百万円（前年同期間比26.2%増）となりました。

③欧州地域

欧州におきましては、ランニングシューズが好調であったものの、主に為替換算レートの影響により、売上高は48,673百万円（前年同期間比2.8%減）となり、セグメント利益につきましては広告宣伝費などは減少しましたが、仕入コストの上昇などにより6,627百万円（前年同期間比12.8%減）となりました。

④オセアニア地域

オセアニアにおきましては、東南アジアへの売上高が日本地域より移管されたことにより、売上高は8,167百万円（前年同期間比10.5%増）となりましたが、セグメント利益につきましては広告宣伝費などの増加の影響により1,772百万円（前年同期間比1.4%増）にとどまりました。

⑤東アジア地域

東アジアにおきましては、オニツカタイガーシューズが堅調であったものの、主に為替換算レートの影響により、売上高は9,561百万円（前年同期間比3.9%減）となり、セグメント利益は781百万円（前年同期間比18.2%減）となりました。

⑥その他事業

その他事業におきましては、ホグロフスブランドのアウトドアウェアなどが堅調であったものの、主に為替換算レートの影響により、売上高は6,024百万円（前年同期間比3.1%減）となり、セグメント損失は63百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の財政状態といたしましては、総資産219,861百万円（前連結会計年度末比3.5%増）、負債の部合計92,849百万円（前連結会計年度末比4.3%減）、純資産の部合計127,012百万円（前連結会計年度末比10.1%増）でした。

流動資産は、現金及び預金および未収入金の増加によるその他流動資産の増加などにより、156,503百万円（前連結会計年度末比5.4%増）でした。

固定資産は、アシックスジャパン株式会社新社屋の建設に伴う建設仮勘定の増加による有形固定資産の増加および投資有価証券の増加があったものの、のれんの減少による無形固定資産の減少、長期性預金の減少による投資その他の資産の減少などにより、63,357百万円（前連結会計年度末比0.9%減）でした。

流動負債は、支払手形及び買掛金が増加したものの、短期借入金および未払法人税等ならびに賞与引当金の減少などにより、53,769百万円（前連結会計年度末比3.9%減）でした。

固定負債は、長期借入金の減少および長期デリバティブ負債の減少によるその他固定負債の減少などにより、39,079百万円（前連結会計年度末比4.8%減）でした。

株主資本は、利益剰余金の増加により、133,424百万円（前連結会計年度末比8.4%増）でした。

その他の包括利益累計額は、主に為替換算調整勘定が増加したことにより、△14,415百万円と前連結会計年度末に比べ744百万円増加しました。

少数株主持分は、8,003百万円（前連結会計年度末比8.7%増）でした。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想に関する事項については、本日（平成25年2月5日）公表の「平成25年3月期通期（連結）業績予想の修正および平成25年3月期通期（個別）業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項がないため記載しておりません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用につきましては、当第3四半期連結会計期間を含む当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社および国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,927	34,811
受取手形及び売掛金	59,392	58,547
有価証券	2,431	1,965
商品及び製品	46,973	47,408
仕掛品	313	367
原材料及び貯蔵品	1,062	1,189
繰延税金資産	4,898	4,535
その他	6,768	9,593
貸倒引当金	△2,332	△1,913
流動資産合計	148,433	156,503
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	30,528	30,535
減価償却累計額	△19,141	△19,657
建物及び構築物（純額）	11,387	10,877
機械装置及び運搬具	4,436	4,412
減価償却累計額	△3,398	△3,508
機械装置及び運搬具（純額）	1,038	903
工具、器具及び備品	12,260	13,255
減価償却累計額	△7,853	△8,530
工具、器具及び備品（純額）	4,406	4,724
土地	10,178	10,027
リース資産	4,085	4,601
減価償却累計額	△921	△1,340
リース資産（純額）	3,164	3,261
建設仮勘定	30	513
有形固定資産合計	30,206	30,306
無形固定資産		
のれん	4,874	4,578
その他	11,676	11,669
無形固定資産合計	16,550	16,247
投資その他の資産		
投資有価証券	7,194	7,706
長期貸付金	346	319
繰延税金資産	1,303	1,167
その他	8,891	8,182
貸倒引当金	△581	△572
投資その他の資産合計	17,153	16,803
固定資産合計	63,910	63,357
資産合計	212,343	219,861

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,668	23,099
短期借入金	13,173	11,687
リース債務	493	560
未払費用	8,725	8,314
未払法人税等	3,177	1,868
未払消費税等	810	1,022
返品調整引当金	628	276
賞与引当金	1,666	641
繰延税金負債	302	168
資産除去債務	6	—
その他	5,317	6,129
流動負債合計	55,969	53,769
固定負債		
社債	16,000	16,000
長期借入金	5,317	4,115
リース債務	2,893	2,897
退職給付引当金	8,103	8,578
繰延税金負債	3,622	3,308
資産除去債務	618	687
その他	4,501	3,491
固定負債合計	41,058	39,079
負債合計	97,027	92,849
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,972	23,972
資本剰余金	17,182	17,182
利益剰余金	89,778	100,092
自己株式	△7,821	△7,822
株主資本合計	123,111	133,424
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,211	1,411
繰延ヘッジ損益	1,832	1,568
在外子会社資産再評価差額金	379	310
為替換算調整勘定	△18,583	△17,706
その他の包括利益累計額合計	△15,159	△14,415
少数株主持分	7,364	8,003
純資産合計	115,315	127,012
負債純資産合計	212,343	219,861

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	186,298	190,499
売上原価	104,642	109,187
返品調整引当金戻入額	565	580
返品調整引当金繰入額	267	221
売上総利益	81,954	81,670
販売費及び一般管理費	65,127	65,273
営業利益	16,826	16,397
営業外収益		
受取利息	326	323
受取配当金	174	181
為替差益	—	343
負ののれん償却額	15	5
その他	530	391
営業外収益合計	1,047	1,246
営業外費用		
支払利息	453	521
為替差損	1,928	—
その他	126	177
営業外費用合計	2,508	699
経常利益	15,366	16,944
特別利益		
固定資産売却益	4	146
投資有価証券売却益	9	96
投資有価証券償還益	11	6
法人税等還付加算金	—	190
特別利益合計	25	440
特別損失		
固定資産売却損	0	19
固定資産除却損	22	34
投資有価証券評価損	1	53
投資有価証券売却損	—	6
投資有価証券償還損	107	6
特別損失合計	131	119
税金等調整前四半期純利益	15,260	17,265
法人税等	5,982	5,794
法人税等還付税額	—	△1,687
少数株主損益調整前四半期純利益	9,278	13,158
少数株主利益	516	638
四半期純利益	8,761	12,519

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	9,278	13,158
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△483	215
繰延ヘッジ損益	157	△182
在外子会社資産再評価差額金	△69	△69
為替換算調整勘定	△4,234	902
その他の包括利益合計	△4,629	866
四半期包括利益	4,648	14,024
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,228	13,264
少数株主に係る四半期包括利益	420	760

(3) 追加情報

平成21年10月に納付した移転価格税制に基づく法人税等追徴税の還付金を法人税等還付税額として計上するとともに、これに係る還付加算金を法人税等還付加算金として特別利益に計上しております。

当社とオーストラリアの子会社との間の平成17年3月期から平成20年3月期の4年間の取引に関して、平成21年9月30日付で大阪国税局から移転価格税制に基づく更正処分を受け、翌月に追徴税額を納付いたしました。当社は、平成22年3月31日に国税庁に対しこの更正処分により生じている二重課税の防止の観点から日豪租税条約に基づき相互協議申立書を提出しました。その結果、国税庁よりオーストラリア当局との相互協議が合意に達したことの通知を受領し、減額更正処分の通知を受領の上、還付金および還付加算金を計上したものであります。

(4) セグメント情報等

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、経営執行会議が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主にスポーツ用品等を製造および販売しており、国内においては当社が、海外においては米州、欧州・中近東・アフリカ、オセアニア/東南・南アジア、東アジアの各地域をアシックスアメリカコーポレーション、アシックスヨーロッパB.V.、アシックスオセアニアPTY. LTD.、その他の現地法人が、それぞれ担当しております。現地法人はそれぞれ独立した経営単位であり、取り扱う製品について各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

「日本地域」、「米州地域」、「欧州地域」、「オセアニア地域」、「東アジア地域」は、主にスポーツ用品等を製造および販売しており、「その他事業」は、「ホグロフス」ブランドのアウトドア用品を製造および販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

（単位：百万円）

	日本地域	米州地域	欧州地域	オセアニア地域	東アジア地域	その他事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高									
(1)外部顧客への 売上高	65,841	46,822	50,068	7,389	9,866	6,218	186,206	92	186,298
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	9,662	0	—	—	79	—	9,742	(9,742)	—
計	75,504	46,823	50,068	7,389	9,945	6,218	195,949	(9,650)	186,298
セグメント 利益又は損失	2,869	3,668	7,598	1,747	955	(117)	16,721	105	16,826

(注) 1. (1) セグメント売上高の調整額は、報告セグメントに含まれない子会社の売上高を含んでおりますが、主にセグメント間調整によるものであります。

(2) セグメント利益又は損失は、報告セグメントに含まれない子会社の利益を含んでおりますが、主にセグメント間調整によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

（単位：百万円）

	日本地域	米州地域	欧州地域	オセアニア地域	東アジア地域	その他事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高									
(1)外部顧客への 売上高	66,698	51,269	48,673	8,167	9,561	6,024	190,394	104	190,499
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	13,392	0	—	—	—	—	13,392	(13,392)	—
計	80,090	51,269	48,673	8,167	9,561	6,024	203,787	(13,287)	190,499
セグメント 利益又は損失	2,868	4,628	6,627	1,772	781	(63)	16,614	(217)	16,397

(注) 1. (1) セグメント売上高の調整額は、報告セグメントに含まれない子会社の売上高を含んでおりますが、主にセグメント間調整によるものであります。

(2) セグメント利益又は損失は、報告セグメントに含まれない子会社の利益を含んでおりますが、主にセグメント間調整によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

前第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

重要な事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

重要な事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項がないため記載しておりません。

4. 補足情報

(1) 連結分類別売上高明細表

(分類)		前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)		増減 (△は減)	
		金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	比率 (%)
スポーツシューズ類	国内	34,561	18.6	36,098	19.0	1,537	4.4
	海外	105,843	56.8	109,247	57.3	3,404	3.2
	計	140,404	75.4	145,345	76.3	4,941	3.5
スポーツウェア類	国内	18,845	10.1	18,670	9.8	△175	△0.9
	海外	14,183	7.6	14,290	7.5	106	0.8
	計	33,029	17.7	32,960	17.3	△68	△0.2
スポーツ用具類	国内	9,535	5.1	8,777	4.6	△757	△7.9
	海外	3,329	1.8	3,415	1.8	85	2.6
	計	12,864	6.9	12,192	6.4	△672	△5.2
合計	国内	62,942	33.8	63,546	33.4	603	1.0
	海外	123,356	66.2	126,952	66.6	3,596	2.9
	計	186,298	100	190,499	100	4,200	2.3

- (注) スポーツシューズ類：ランニングシューズ、陸上競技・マラソン・サッカー・バレーボール・バスケットボール・ベースボール・テニス等の各種競技用シューズ、ウォーキングシューズ、スクールスポーツシューズ、スポーツスタイルシューズ、ジュニアシューズ、キッズシューズ等
- スポーツウェア類：トレーニングウェア、アスレチックウェア、スクールスポーツウェア、ベースボールウェア、スイムウェア、スポーツスタイルウェア、アウトドアウェア等
- スポーツ用具類：ベースボール・グラウンドゴルフ・パークゴルフ等の各種用具、スポーツバッグ、スポーツネット、サポーター、陸上競技用機器等

(2) 地域別売上高

前第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

(単位：百万円)

日本	米州	欧州	その他	合計
62,942	46,822	55,168	21,365	186,298

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

(単位：百万円)

日本	米州	欧州	その他	合計
63,546	51,289	52,984	22,678	190,499

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(3) 在外子会社為替換算レート

	USD	EUR	AUD	KRW	SEK
24年3月期第3四半期 (円)	80.33	112.98	83.89	0.0729	12.55
25年3月期第3四半期 (円)	79.07	101.74	81.73	0.0694	11.68
増 減 (円)	△1.26	△11.24	△2.16	△0.0035	△0.87
増 減 比 (%)	△1.6	△9.9	△2.6	△4.8	△6.9

(注) 上記にて在外子会社の損益計算書を換算しております。

(4) 報告セグメント別売上高増減比、セグメント利益増減比およびセグメント利益率

		日本地域	米州地域	欧州地域	オセアニア 地域	東アジア 地域	その他事業
売上高増減比 (%)	(外貨)	—	+11.2	+8.0	+13.5	+0.0	+4.1
	(邦貨)	+6.1	+9.5	△2.8	+10.5	△3.9	△3.1
セグメント利益増減比 (%)	(外貨)	—	+28.2	△3.1	+4.1	△15.9	—
	(邦貨)	△0.0	+26.2	△12.8	+1.4	△18.2	—
セグメント利益率 (%)		3.6	9.0	13.6	21.7	8.2	△1.1